

## (9) 八万・勝占地域

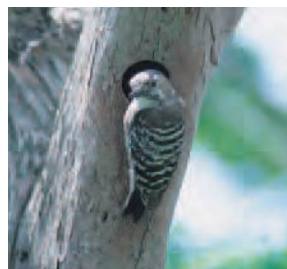
徳島市のほぼ中央部から東寄りに位置する当地域は、主に山地と平地、海岸により構成されています。山地には、眉山の南斜面とその南側、大谷町の小起伏山地及び東端に位置する日峯山塊などが含まれます。平地は主に、園瀬川や勝浦川、多々羅川などの流域に広がる氾らん原や谷底低地からなり、河口付近には埋立地があります。

八万地域は、市内一の人口をもつ住宅地となっていますが、平地は広く、水田や畑に利用されています。一方、勝占地域の日峯山塊は紀伊水道に面し、大神子海岸などの自然海岸がみられます。また、とくしま市民遺産にも選定されている弁天山は（標高6.1m）国土地理院発行の地図に載る自然の山として日本一低い山となっています。

日峯山塊の潮風を強く受ける場所は、ウバメガシ群落で覆われ、岩場にすむタワヤモリ、砂浜にすむニッポンハナダカバチなど、海岸特有の環境を反映した動植物がみられます。

低地の田園地帯を流れる多々羅川には、なじみの深いギンプナをはじめ、コイ、オイカワ、ナマズ、ドジョウなどの魚がすんでいます。

勝浦川の河口域では、スズキやボラなどの中層を遊泳する魚類もみられますが、特にハゼの仲間が多いという特徴があります。これは勝浦川河口の干潟と塩性湿地が重要な生息場になっていると考えられます。



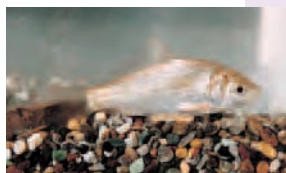
1 山地の森林に生息するコゲラ



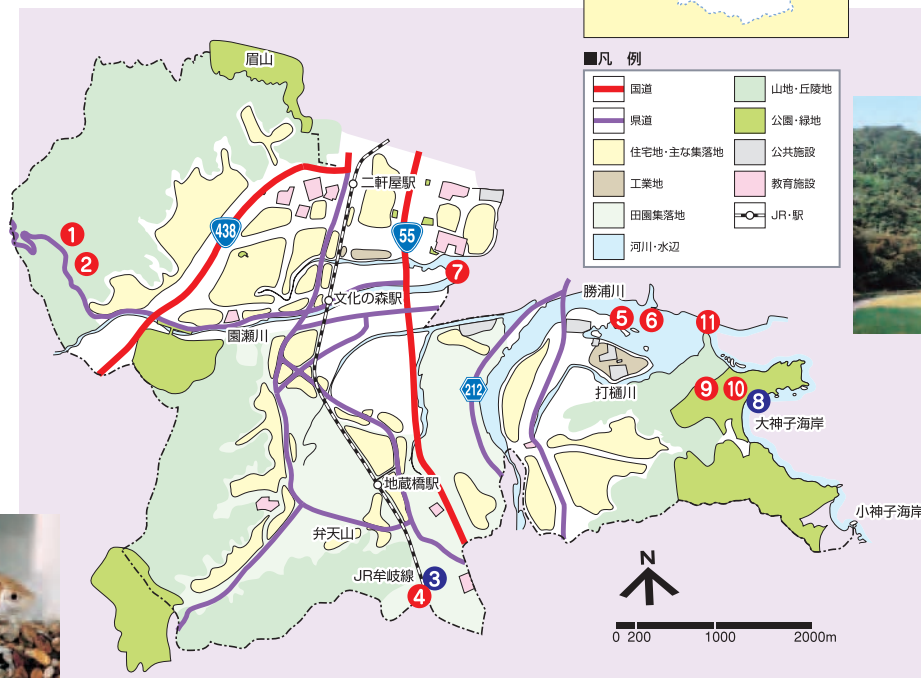
2 山地の森林に生息するルリビタキ



3 水草が繁茂する多々羅川



4 灌漑用水路や小川に多くみられるギンプナ



5 干潟に群生するアシハラガニ



6 河川上空で魚をねらうミサゴ



7 泥質干潟に群生するオサガニ



8 大神子の岩礫性海岸と砂浜



9 海岸付近の林縁に生息するホウロクイチゴ



10 海岸部の岩場に生息するタワヤモリ



11 海浜や河川敷の砂地に営巣するニッポンハナダカバチ